

【海上】輸出貨物情報に関する便利な機能の紹介

1. 貨物情報照会 (ICG) における機能改善(平成30年12月プロ変実施)

これまででは輸出貨物を保税蔵置場間で移動させる場合、移動元で「搬出確認登録 (輸出許可済) (BOC) 」業務が行われないと、搬入先蔵置場で貨物情報の照会を行うことができませんでした。
今般、BOC業務未実施であっても、ECR業務において「経由地」が登録されていれば、当該経由地の保税蔵置場においては、「貨物情報照会 (ICG) 」業務による照会が可能となりました。

【ECR】 入力画面※通関業者により入力【ICG】 照会画面(指定情報:TTL)

経由地が入力されていれば、ICGにより照会可能

ECR直後から、ICGで照会できるので
普段BIDをされる方は便利になります

※経由地の入力状況を確認したい場合、【ICG】において「指定情報:ENT」で確認可能

2. 輸出貨物搬入予定照会 (IEC) について

「輸出貨物情報登録 (ECR) 」業務が行われた貨物のうち、保税地域に搬入予定となる貨物の情報について、保税地域単位かつ搬入予定日単位に輸出管理番号の一覧として照会が可能です。

【IEC】 入力画面

照会したい搬入予定日を入力

【利用例】

- 例①：明日、何件の貨物が搬入される予定となっているのか。
→搬入予定日に明日の日付を入力することで確認可能。
- 例②：昨日または今日までに搬入される予定となっていた貨物情報は、すべて搬入確認登録(BIC)されているか。
→搬入予定日に昨日または今日の日付を入力することで確認可能。
※注意：BICされた貨物情報についてはIECでは照会されません。

【IEC】 照会画面

ECR直後から、IECで搬入予定一覧が照会できるので、
普段BICをされる方は便利になります

【ECR】で搬入予定日及び経由地が入力されると...



通関蔵置場でIEC可！

CFS等でICG可！

その他の便利な機能の紹介

3. 蔵入等航空貨物到着確認 (BAS) (平成30年12月新規追加)

航空貨物に係る蔵入 (IS)、移入 (IM) の対象貨物の到着確認については、税関官署へ報告後、税関が「蔵入・移入・総保入・展示貨物到着確認 (CAS)」業務を行っています。民間において確認登録が可能となります。

【BAS】 入力画面

申告等番号*

申告等番号を入力

4. 情報伝達 (MSA)

利用者間 (民間⇔税関、民間⇔民間) における情報伝達を行います。お付き合いのある事業所に対して、電話よりも安く(プランA:4円、プランB:5円)かつ確実な情報の伝達が可能です。また、送信者がNACCS利用者限定となりますので、インターネット経由の電子メールのように不審なメールが送信される可能性が低いです。

【MSA】 入力画面

宛先
税関官署 部門

利用者 1AKD0 NOP

件名 ECRの経由地入力について

本文 ECRの経由地を入力願います。

送信したい利用者コードを入力

【MSA】 受信画面

伝達情報 (民間)

送信者 1AKD0 整理番号 NOP

件名 ECRの経由地入力について

本文 ECRの経由地を入力願います。

外部ファイルとして保存すれば、
コピー&ペーストが可

情報伝達(MSA)受信時の留意点

・代表端末として登録されている論理端末で受信されます(又は蓄積電文取り出し)。
※代表端末はEXC型宛先管理照会 (UOC01)を送信することで確認可能です。

【UOC01】 入力画面

利用者コード* 1AKD0

ログオン中の
利用者コードを入力

【UOC01】 出力画面

値がある場合のみ、
蓄積電文取り出しを押下

出力情報 コード	出力端末名	メールボックス ID	メール種別	送信先種別	出力先 利用者コード	出力先 システム形態
01			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
02			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>
03			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

999999又はCAL0240

受信される論理端末名(代表端末)
※論理端末名はパッケージソフト上
「オプション→設定」で確認可